

「又、記録的」豪雨で被害だって・・・

広島市北部では三時間に二百ミリ以上の雨。土石流が発生。死者三十九人、行方不明二十六人(21日現在)

気象庁のレーダーで見ると、強い雨雲が、南西から北東に、線状に流れていた。

高知、京都では

今年の雨は異常だ。

八月始めには、四国の仁淀川流域で降り始めからの降雨量が一千ミリを越えた。

同時期に和歌山県串本では四八時間で五五〇ミリ。

福知山市では十七日二四時間雨量が三〇三ミリ。福知山市中心街は水没。マンション一階から上階に避難したが、自衛隊のボートで救出されたのは十二時間後。

兵庫県丹波市では橋が流されたり、キャン

プの二五〇人が孤立。「又、記録的」豪雨?

確かに、今年の雨の降り方は異常だ。四国では、年間降雨量の三割が数日の内に降った。八月初めの四国の雨は「記録的豪雨」と云って良いだろう。

でも「又」と云って良いのだろうか?

もし、私が首相だったら・・・

「今後は、四国であったような豪雨が来るという前提で防災対策を練り直せ」「気象庁のレーダーで猛烈な雨が同じ地域で連続したのを観測したら、直ちに国として防災態勢を取れ。自衛隊も出動準備を」と云うだろう。

そして広島のように降ったら、未明の内に官邸に戻る。

私は首相に向いていないのかなあ?

至仏山

新潟県尾瀬ヶ原



前回に続き七月末の尾瀬ヶ原。

大正末期に電力会社が水力発電を目論んで尾瀬ヶ原の土地や水利権を獲得。それを東京電力が引き継いだ。ダムで尾瀬ヶ原水没の計画があつたが、自然保護の声で断念。そんな経緯で、東京電力経営の東電小屋が尾瀬ヶ原の北東端にある。

その小屋から西を眺めると至仏山がある筈。しかし、この朝は雨雲にガスで視界が悪い。そんな中、至仏山に登るのかレインウェアを着たり、傘をさした一団が出かけて行った。

じっと待っているとガスがゆつくり流れた。白樺の木が何本かの列をなしている。尾瀬ヶ原のところどころにある流れのほとりにできた疎林だ。

やがて雨雲が切れ、至仏山が見えてきた。